

令和6年度 上田市立真田中学校 学校関係者評価のまとめ

学校教育目標	めざす子どもの姿	総 合 評 価
<かりがね精神> ・磨き合う知性 ・感じ合う心 ・鍛え合う身体 ・見つめ合う命	・自ら意欲的に学ぶ生徒 ・豊かな心を育む生徒 ・進んで身体を鍛える生徒 ・命を大切にする生徒	○地域に開かれた学校作り、本音で語り合える学校づくりの観点から、今年度はサルビア栽培、放課後学習支援、心のサポート支援、放課後カルチャークラブ、農業体験学習、各活動 等々に50名を越えるボランティアの皆様のご協力を頂き、大変素晴らしい1年でした。感謝します。 ○地域とともに有る学校という理念が、様々な教育活動の中に反映されて、中学校を大変身近に感じられる様になってきていることは、大変素晴らしいことと、今年も強く感じています。 ○学校が楽しい＝安心できる場所としてののかなと思います。先生方の学校の環境づくりがちゃんとされているのがわかります。ありがとうございます。 ○ボランティアルームは地域の方々とのつながりを体感できることから、継続が必要な活動だと思います。

領域	評価項目	評価の観点	成果と課題	学校自己評価	運営委員評価	改善策・向上策
教育活動	授業改善 の推進	①生徒の疑問や発見をもとに、授業を創りあげているか。(生徒の声やつぶやきを拾い、授業をファシリテートする。)	○生徒の疑問や自身の必要感を課題の中心に据えることができた。 ●知識や技能を定着させる場面では難しさを感じた。	B	B+	・振り返りの場面を充実させ、次時へ疑問や意欲を繋げていけるような工夫をしていく。 ・生徒が基礎的基本的な知識や技能を身につける活動に進んで取り組めるよう配慮する。
		②自分と違う見方や考え方から自分の考えを深める指導ができたか。(自分の考えをもつ、疑問を見つける、友の考えを聴く<受けとめる>、自分との違いを見つける、評価する)	○友の考えを聴き、新たな学びを得る姿が見られた。 ●意見の共有にとどまり、考えを深めるところまでいかなかった。	B	B	・生徒が学ぶ過程で、友とどのように関わり、どのように学びを深めているのか把握する。 ・グループでの学習を位置づけ、意見交換の仕方や場面を工夫する。
		③生徒が困り感をメタ認知できるように支援し、解決の見通しをもたせることができたか。(書く、伝える)	○振り返りシートを活用して学習の見通しを持って取り組めるよう支援することができた。 ●教師が生徒の困り感を把握することはできたが生徒自身が自覚するまでに至らなかった。	B	B+	・振り返りの時間に、生徒とのコミュニケーションを大切にする。 ・振り返りカードを工夫し、できたことや分かったこと、今後の課題などについて、個々の生徒にとって明確になるようにする。
	誰にとっても居心地のよい学校づくり	①気持ちの良いあいさつで始まり、あいさつで終わることができているか。	○教師から生徒へ、進んであいさつをすることができた。 ○時間のけじめをつけることを意識してあいさつできた。 ●年々生徒のあいさつが低調になって来ているように感じる。	B+	B+	・生徒会を中心に、あいさつを全校に広げていく活動を行う。 ・生徒も職員も、たがいに気持ちの良いあいさつが出るよう、行動に余裕をもつ。
		②ソーシャルスキル(相手の良さに気付く、認める、思いやる)を生徒も教師も高めることができたか。	○授業や様々な活動場面で、個々の頑張りや成長する姿を認め、励ますことができた。 ●相手の良さに気付く、認める、思いやるという点で不十分さを感じた。	B	A	・対話的な活動を通して、生徒同士でも互いに理解を深め合ったり、良さを認めあったりできる場を設ける。 ・良さが見られたときには、その都度本人に伝えることを継続していく。
		③感謝(仲間、地域の方、校舎や道具、自然などに)の気持ちを育てる指導ができたか。	○部活動や生徒会活動で協力し合いながら活動する姿が見られたり陰で貢献する友の姿を知らせたりすることができた。 ○学校ボランティアの方々へ感謝のメッセージを書いた。 ●給食の食器や清掃用具を乱雑に扱う姿が見られる。	B+	A	・道徳の授業や学活で、公共物の扱いや礼儀などについて考え合っていく。 ・地域の方との交流が増えてきているので、今後もボランティアの方々へ感謝の気持ちを伝える活動を継続していく。
		④生徒会や地域とタイアップした「楽しい学校づくり」を行うことができたか。	○全校の取り組みなどで、生徒会が中心となり、生徒が活躍する場が増えた。 ○カルチャークラブや放課後学習等で生き生き学ぶ生徒の姿がとてもよい。	B+	A	・カルチャークラブや放課後学習会の良さをさらに広げ、参加生徒を増やして行く。
	地域とともにある学校	①地域の方々と目標やビジョンを共有することができたか。	○真田中生を語る会が良い機会となり、地域の学校としての真田中や生徒の様子について地域の方々と意見交換できた。 ●地域の方々と交流する機会はあるものの、ビジョンを共有するのは難しい。	B	B+	・地域の中で子どもたちを育てる意識を大切にしながら、地域の方々の願いや思い、学校としての考えなどを伝え合い、次年度の活動を準備していく。 ・地域の方々の声にしっかり耳を傾ける姿勢で、教育活動を充実させる。
		②コミュニティースクールの取り組みを活かした、学校が核になる持続可能な地域社会づくりができたか。(自治会活動への協力、福祉・ボランティア活動の推進、部活動の地域移行を踏まえたさなだスポーツクラブとの連携)	○コミュニティースクールが活発に運営されていて地域の方が学校にいてくださる時間が増えていてよいと思う。 ○真田スポーツクラブとの連携がよかった。 ●地域の拠点としての学校の役割を果たすため、地域との連携はこれからも充実させられたい。	B	B+	・部活動の地域移行に関して、学校、保護者、地域がよく話し合い、前に進めていきたい。 ・自治会(地域)の行事へ、今後も積極的に参加できるように、呼びかけていく。 ・地域の行事や学校と地域がつながる様々な活動において、生徒たちが活躍できる機会(場)を設けていく。
		③「食育」「サルビアづくり」「カルチャークラブ」などの特色ある教育活動を通して、子ども大人も学び合い育ち合う学校づくりができたか。	○伝統のサルビアも受け継がれ、カルチャースクールも地域の方と交流をしながら、真田中の良さを学ぶことができた。 ○真田中の特色ある活動を地域の方々と協力して進めることができた。	B+	A	・食育やサルビアづくり、カルチャークラブなどの様子を地域に積極的に発信し、さらに理解を深めてもらうと共に、協力をお願いする。 ・伝統的であったり、真田中の特色であったりする活動は継続したいが、生徒や教職員の負担も考慮したい。 ・生徒からの発想で活動を企画したい。
学校運営	家庭や地域と連携した学びの場の創造	①地域と連携し、特色ある教育活動の充実に努めているか。(学校運営委員会・学習支援ボランティア・PTA等)	○ボランティアの方々には、様々な面で生徒や学校を支えていただきありがたかった。 ○地域と学校が協力して取り組んだ活動が、よりよい真田中につながっている。 ●地域の方々に任せきりになっているところもある。	B	B+	・地域との繋がりが強い真田中生の良さや特色を継続していく。 ・ボランティアの皆さんの活躍を地域に発信し、地域との連携をさらに深めていく。 ・関わってくださる地域の方々や学校職員が負担を感じることなく、互いに意見を交換しながら活動を企画したり見直したりしていく。
		②地域に開かれた、また、地域に信頼される学校づくりに努めているか。(HPの発信・各種通信の発行・学年学級PTA)	○定期的な学校だよりの発行、HPのこまめな更新、適切なメールでの連絡など、学校に関わる情報がきちんと保護者、地域に伝わっている。 ●授業参観、学級学年PTAへの参加が少ない。	B+	A	・魅力ある学年経営、学級経営に努める。 ・今後も積極的に学校から情報を発信すると同時に、地域や保護者の方々からもご意見を伺っていきたい。